



2024 年 12 月 10 日

株式会社千葉銀行によるエッジテクノロジー株式会社の株式取得 (完全子会社化) に関するお知らせ

千葉銀行（頭取 米本 努）は、エッジテクノロジー株式会社（代表取締役 住本幸士、以下「エッジテクノロジー」）の全株式を取得し、2024 年 12 月 10 日付で完全子会社化したことをお知らせします。

※ 完全子会社化を目的として実施した公開買付の概要（2024 年 9 月 6 日公表）はこちら

https://www.chibabank.co.jp/data_service/file/news20240906_01_001.pdf

※ 公開買付の結果（2024 年 10 月 24 日公表）はこちら

https://www.chibabank.co.jp/data_service/file/news20241024_02_001.pdf

■ 今後の展望

1. 両社での取組施策について

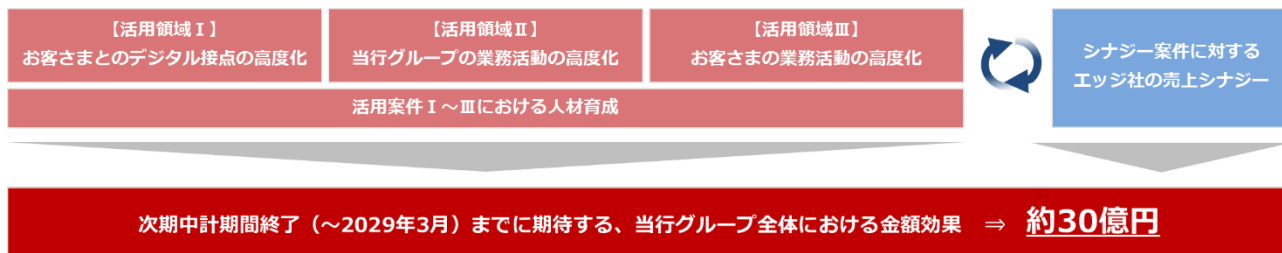
エッジテクノロジー単体での事業活動による収益向上に加えて、同社が千葉銀行グループに加わることで、既存の枠組みを大きく上回るさまざまなシナジーを実現できるものと考えています。

具体的には、「お客さまとのデジタル接点」の領域において、これまで取り組んできたデータ分析や AI・機械学習を活用した One to One マーケティングの推進体制に同社が加わることで、マーケティング予測モデルの数や質が強化され、お客さまのクロスユースを促進し、当行ファンを着実に増やすことが期待されます。

「当行グループの業務活動」の領域では、音声情報の文字起こしや CRM への連携、不正取引の検知、融資審査業務の効率化といったさまざまな場面で AI 技術を活用することで、行員業務のさらなる効率化や高度化に積極的に取り組んでまいります。

「お客さまの業務活動」の領域では、千葉銀行グループの経営資源を最大限活用し、法人のお客さまの課題解決に相応しい AI ソリューションをエッジテクノロジーとともに提案してまいります。

こうした取組みにより、次期中期経営計画の終了時点である 2029 年 3 月までの期間に、千葉銀行グループ全体で 30 億円相当の金額効果を発揮することを期待しています。



2. エッジテクノロジーの組織体制および経営体制の変更について

前頁に掲げる取組施策を早期に実現するためには、A I アルゴリズム事業の営業推進に強いメンバーをエッジテクノロジーの経営の中核に据えるとともに、組織内における情報連携の迅速化と代表取締役による組織運営を強化する必要があることから、2024 年 12 月 10 日付で同社の組織体制および経営体制を変更します。

具体的には、A I アルゴリズム事業本部および管理本部を廃止して部門階層を簡素化し、代表取締役による指揮命令系統を強化するとともに、銀行グループと同社のシナジー効果の発現に向けた活動を担う組織として「A I イノベーション推進室」を設置します。また、A I アルゴリズム事業本部長として事業全体を牽引してきた島田雄太を代表取締役に任命するとともに、同社の設立時より営業部門を牽引してきた坂西茂を取締役兼A I イノベーション推進室長に任命することで、事業推進やシナジー創出におけるリーダーシップが発揮されることを期待しています。

【組織体制】



【経営体制】

変更前		変更後			
【取締役】		【取締役】			
氏名	役職	氏名	役職		主な役割
住本 幸士	代表取締役	島田 雄太	代表取締役社長	常勤	経営全般、営業部門担当役員
島田 雄太	取締役 ー兼AIアルゴリズム事業本部長 ー兼AIソリューション事業部長	塚本 聡	取締役副社長	常勤（当行派遣）	経営全般、管理部門担当役員 グループ・ガバナンス
高畠 和明	社外取締役	坂西 茂	取締役 ー兼 AIイノベーション推進室長	常勤	シナジー計画担当役員
【執行役員】		柴田 秀樹	取締役	非常勤（当行派遣）	グループ・ガバナンス
氏名	役職	官澤 太郎	取締役	非常勤（当行派遣）	グループ・ガバナンス
坂西 茂	執行役員 ー兼社長室長				
【監査役】		【監査役】			
氏名	役職	氏名	役職		
塚原 俊郎	監査役	塚原 俊郎	社外監査役	常勤	監査業務
中田 隆徳	監査役	高橋 経一	監査役	非常勤（当行派遣）	グループ・ガバナンス
清水 幸明	監査役				

以上



エッジテクノロジー株式会社の 完全子会社化について

2024年12月10日
株式会社千葉銀行
(東証プライム：8331)



1. 本件のハイライト

P.3

2. エッジテクノロジー事業計画（単体）

P.6

3. PMI体制におけるシナジーの検討

P.8

4. シナジーの早期実現に向けた体制変更

P.12

5. エッジテクノロジー事業計画（シナジー）

P.16

本件のポイント

- 千葉銀行は、2024年12月10日付でエッジテクノロジー株式会社（以降、エッジテクノロジー）の完全子会社化※を完了した。
- エッジテクノロジー単体での既存の強みを活かしたオーガニック成長に加えて、千葉銀行グループとのシナジーを最大化するため、両社メンバーで構成される検討会議体としてPT・分科会を設立。次期中計期間までの千葉銀行グループ全体における金額効果として30億円程度を見込む。
- 上記シナジー効果の早期実現を目的として、エッジテクノロジーの組織体制・役員体制を変更する。

千葉銀行グループにおける戦略的目的

- 千葉銀行グループでは、「お客さまとのデジタル接点」「当行グループの業務活動」「お客さまの業務活動」の三領域におけるAI技術の活用により顧客体験のさらなる高度化を目指しており、本件完全子会社化を通してこうした活動をさらに加速させる。

※ 完全子会社化を目的として実施した公開買付の詳細については、下記をご参照ください。

① 「エッジテクノロジー株式会社株券等（証券コード 4268 ）に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」（2024年9月6日公表）

https://www.chibabank.co.jp/data_service/file/news20240906_01_001.pdf

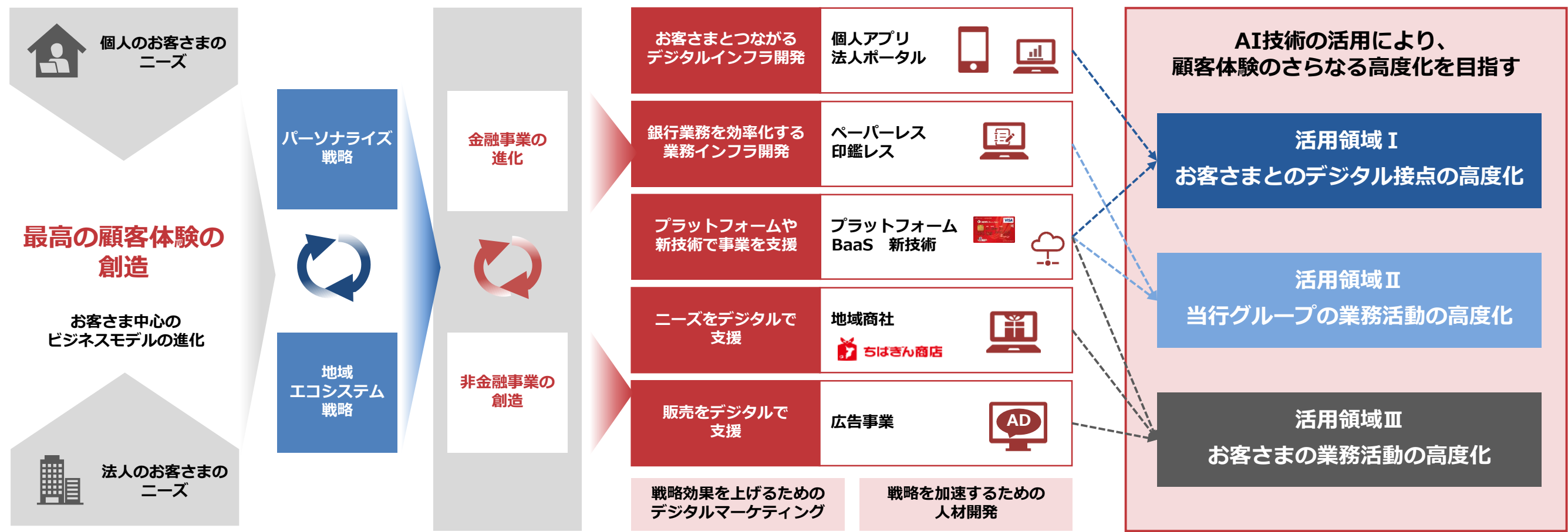
② 「株式会社千葉銀行によるエッジテクノロジー株式会社の株式等に対する公開買付けの結果に関するお知らせ」（2024年10月24日公表）

https://www.chibabank.co.jp/data_service/file/news20241024_02_001.pdf

「最高の顧客体験の創造」をさらに高度化していくため、AI技術を各業務領域に活用していく

ちばぎんDX「3.0」

今後の方向性



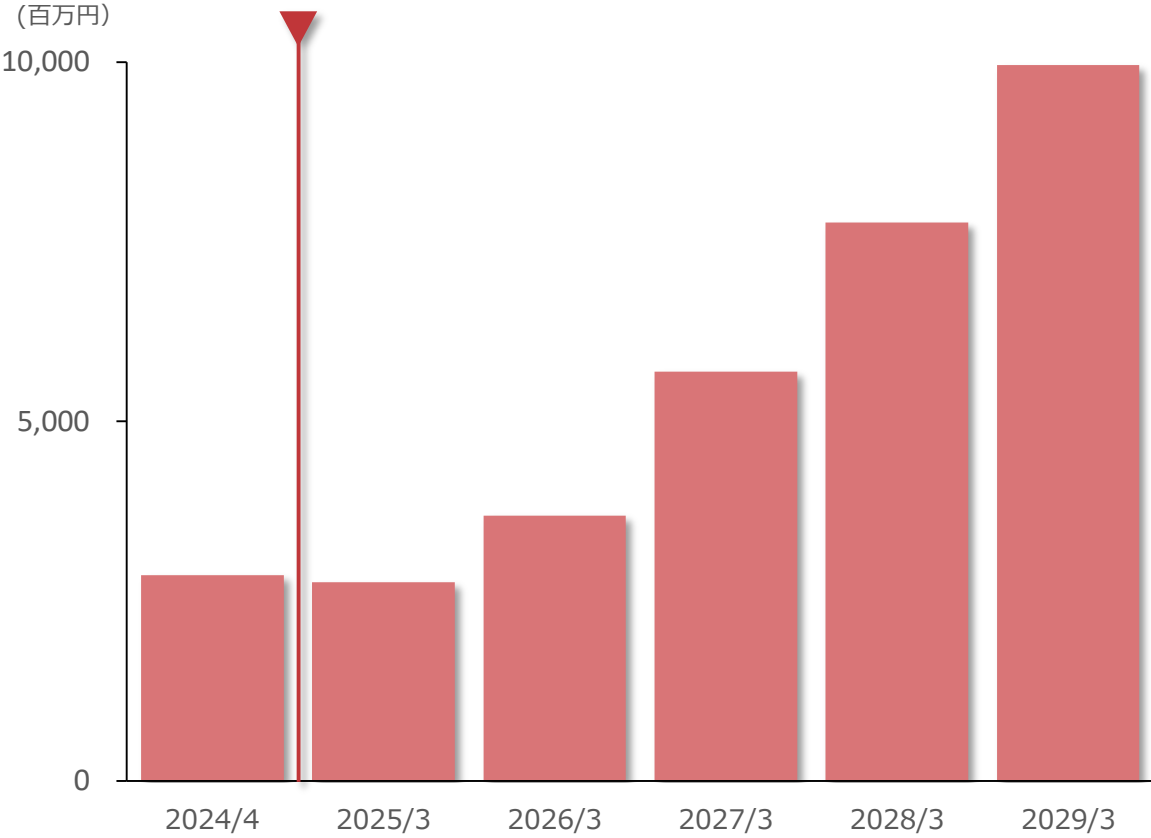
- | | |
|-------------------------|------|
| 1. 本件のハイライト | P.3 |
| 2. エッジテクノロジー事業計画（単体） | P.6 |
| 3. PMI体制におけるシナジীর検討 | P.8 |
| 4. シナジীর早期実現に向けた体制変更 | P.12 |
| 5. エッジテクノロジー事業計画（シナジীর） | P.16 |

単体計画においては、既存の強みを生かしたオーガニック成長を目指す

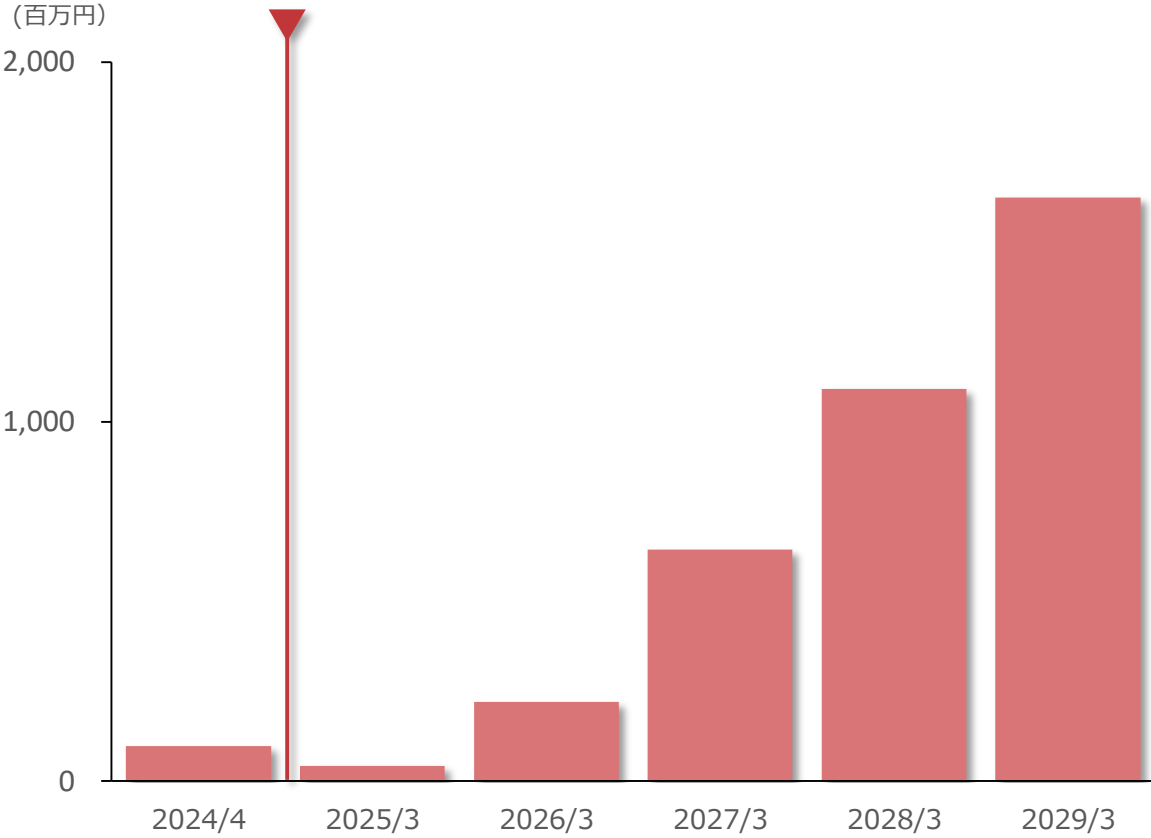
現状と今後

- 足元の期間においては、今後の成長に向けた社員増強・体制強化に注力。
- 今後、次期中計期間中もAI市場・フリーランス市場は引き続き堅調に伸びていくと予想されることから、当社の案件獲得・処理能力の向上に伴い業績も上向いていくものと予想。

売上高



営業利益



- | | |
|------------------------|------|
| 1. 本件のハイライト | P.3 |
| 2. エッジテクノロジー事業計画（単体） | P.6 |
| 3. PMI体制におけるシナジーの検討 | P.8 |
| 4. シナジーの早期実現に向けた体制変更 | P.12 |
| 5. エッジテクノロジー事業計画（シナジー） | P.16 |

両社それぞれにおいて事業活動を自走しながら、協働の取り組みを通してAI戦略の加速化とシナジー創出を実現する



パーパス

一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする

ビジョン

地域に寄り添うエンゲージメントバンクグループ

中期経営計画

- I : 最高の顧客体験の創造
- II : 既存事業の質の向上
- III : 新たな価値の提供

DX戦略

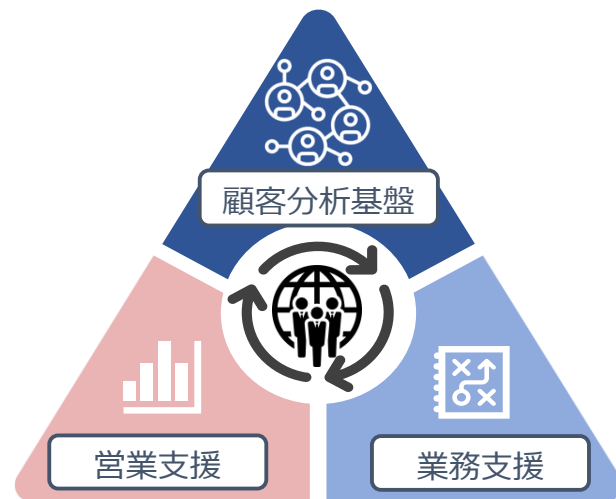
- I : パーソナライズ戦略
- II : 地域エコシステム戦略



協業領域で目指す姿

地域のお客さまへのAIサービスの提供を通して、専門性・提案力を高めていく

・ AI領域のソリューション強化



・ 県内の顧客基盤強化
・ 金融分野の専門性強化

企業理念

テクノロジーで世界中の人々を幸せに

基本方針

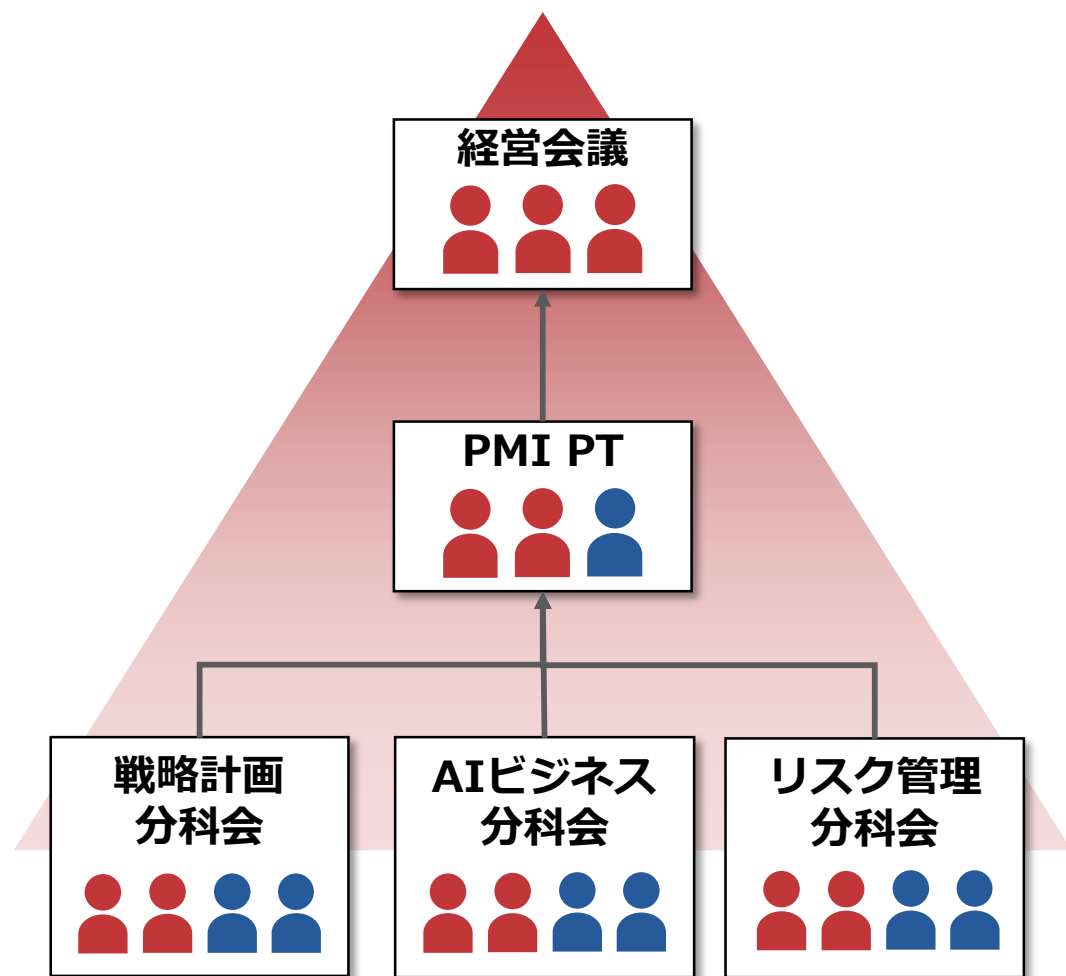
- I : 世界中の人々の幸せのために
- II : ヒトがAIを創る時代
- III : 最適なAIサービス

事業戦略

AIソリューション事業・AI教育事業・AIプロダクト事業の連携

両社のパーパス・企業理念を実現可能とする人材の育成

単体収益向上・シナジー最大化に向けた戦略策定・施策検討・制度対応を遅滞なく進めるため、PT・分科会の検討体制を設立



PMI PT

- 統合にかかる重要事項の対応方針検討・報告
- 各分科会の活動全体の統括・進捗管理
- PMI全体における論点設定、分科会へのアジェンダ差配

戦略計画分科会

- 戦略立案、計画化、組織・機関設計
- 計数報告、経営体制・会議体、人事・労務、風土・文化

AIビジネス分科会

- シナジー施策の具体化検討
- 協業領域ごとに実務担当者を含めた施策協議、協業スキーム整理

リスク管理分科会

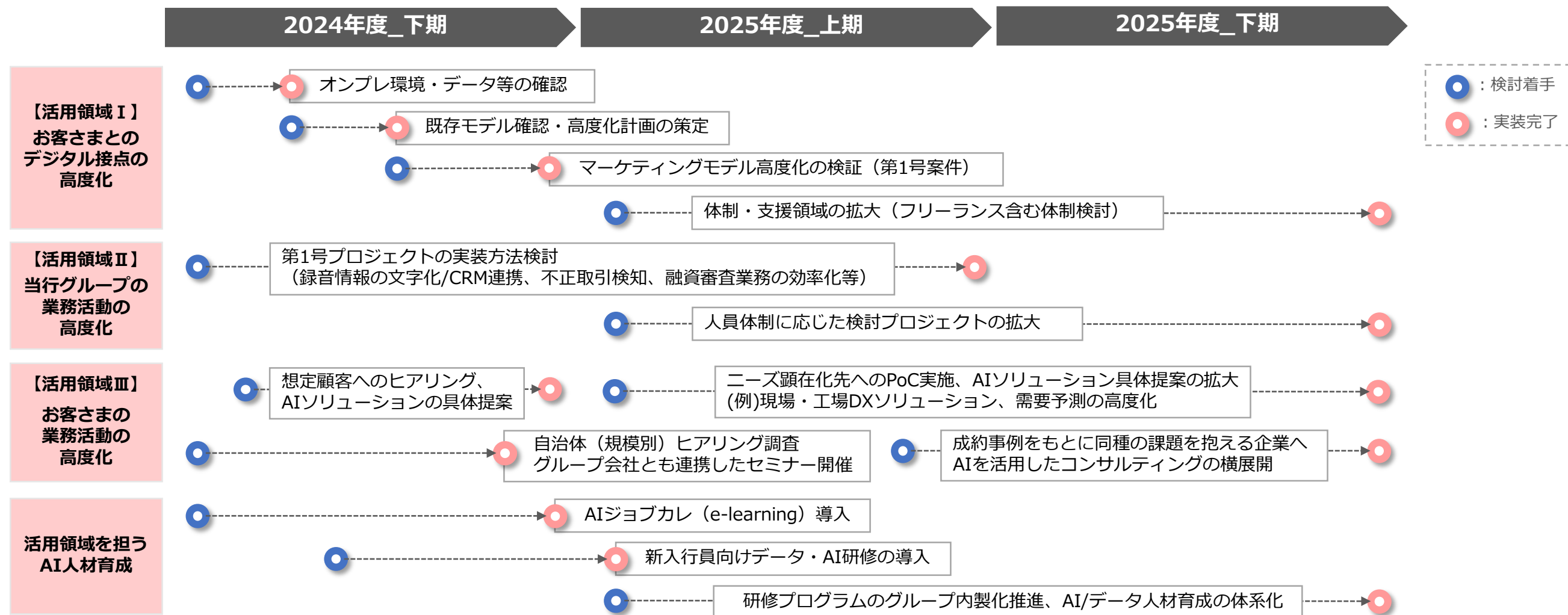
- グループ共通規程に基づいた経営管理の基準・ルール設定、文書化推進
- グループ管理、リスク・コンプライアンス、財務・財務、業務インフラ

 : 千葉銀行
  : エッジテクノロジー

積極的な協業施策推進により、千葉銀行グループ全体で30億円相当の金額効果を目指す

取組方針

○ 足元での取り組みとしては、2024年度中における第1号案件の組成を目標としながら、実際の取組事例の蓄積を通じたスキーム整理・体制拡大を図っていく。



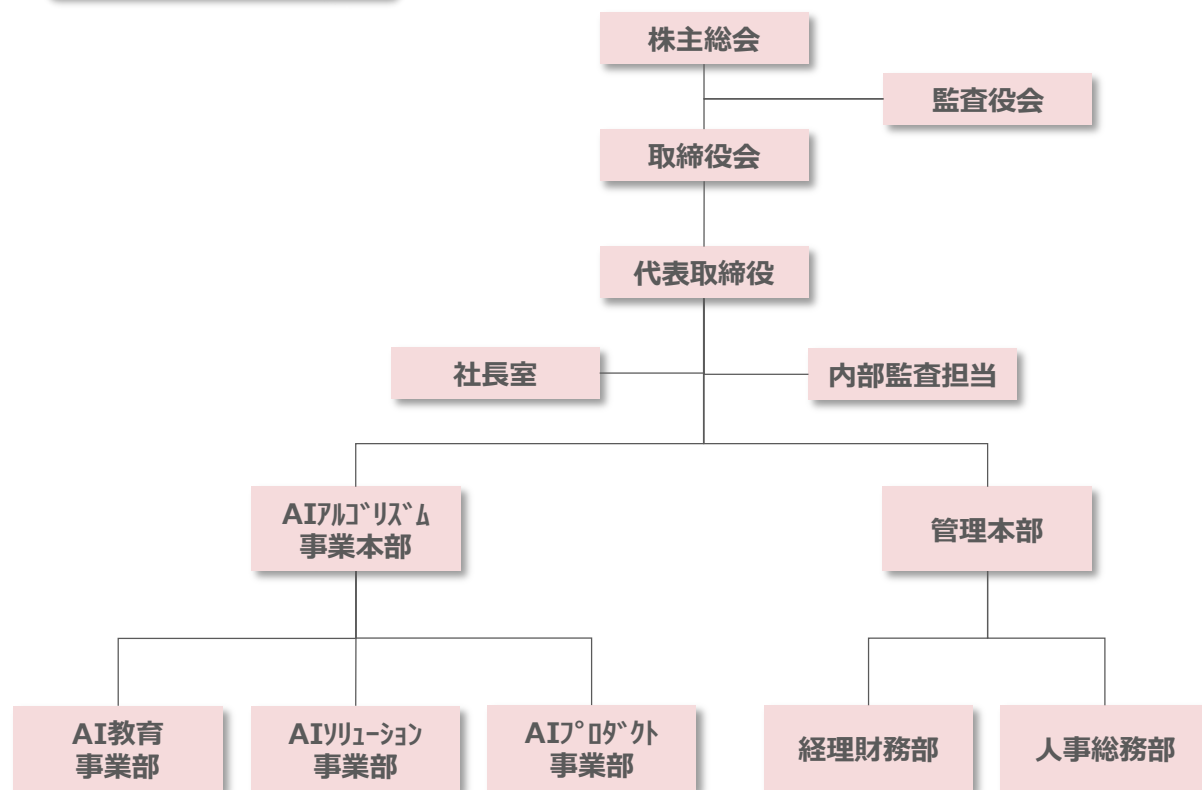
- | | |
|-------------------------|------|
| 1. 本件のハイライト | P.3 |
| 2. エッジテクノロジー事業計画（単体） | P.6 |
| 3. PMI体制におけるシナジীর検討 | P.8 |
| 4. シナジীর早期実現に向けた体制変更 | P.12 |
| 5. エッジテクノロジー事業計画（シナジীর） | P.16 |

部門階層の簡素化とAIイノベーション室の創設により、シナジー発揮をさらに加速

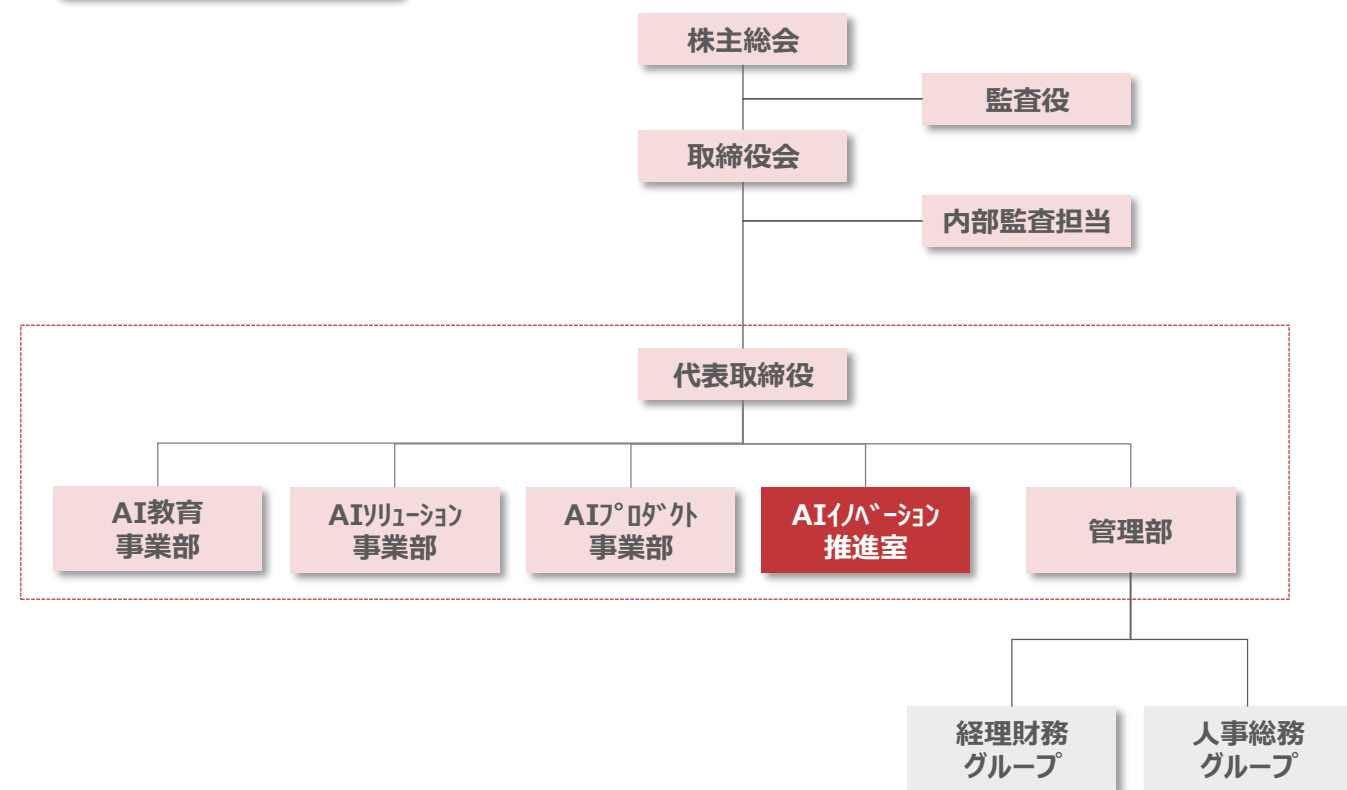
目的・狙い

- AIアルゴリズム事業本部および管理本部を廃止して部門階層を簡素化することにより、組織内における情報連携の迅速化と代表取締役による組織運営の強化を図る。
- シナジー効果の発揮に向けた組織的な動きをより強化するため、社長室を「AIイノベーション推進室」として名称変更し、主に千葉銀行グループとのシナジー連携を強化する役割を担う。

変更前



変更後



営業推進に精通したメンバーの取締役起用と当行取締役の派遣により、収益力とグループ間連携を強化

目的・狙い

- 現行の役員体制を刷新し、AIアルゴリズム事業の営業推進に精通したメンバーを経営の中核に据えることで、単体収益の向上とシナジーの早期実現を図る。
- 千葉銀行グループとのシナジー連携およびグループ・ガバナンスの強化を図るため、当行より非常勤取締役・監査役を派遣し役員体制を強化する。

変更前

【取締役】

氏 名	役 職
住本 幸士	代表取締役
島田 雄太	取締役 －兼AIアルゴリズム事業本部長 －兼AIソリューション事業部長
高畠 和明	社外取締役

【執行役員】

氏 名	役 職
坂西 茂	執行役員 －兼社長室長

【監査役】

氏 名	役 職
塚原 俊郎	監査役
串田 隆徳	監査役
清水 幸明	監査役

変更後

【取締役】

氏 名	役 職		主な役割
島田 雄太	代表取締役社長	常勤	経営全般、営業部門担当役員
塚本 聡	取締役副社長	常勤（当行派遣）	経営全般、管理部門担当役員 グループ・ガバナンス
坂西 茂	取締役 －兼AIイノベーション推進室長	常勤	シナジー計画担当役員
柴田 秀樹	取締役	非常勤（当行派遣）	グループ・ガバナンス
官澤 太郎	取締役	非常勤（当行派遣）	グループ・ガバナンス

【監査役】

氏 名	役 職		
塚原 俊郎	社外監査役	常勤	監査業務
高橋 経一	監査役	非常勤（当行派遣）	グループ・ガバナンス

島田 雄太（代表取締役）

- 電子トレーディングを専門とする欧州銀行サクソバンクの日本子会社に10年間勤務。
- 営業統括責任者（Head Of Sales）としてリテールビジネス及びホールセールビジネスの事業化を手掛ける。
API経由での為替取引やパートナーシップビジネスの構築を強みとする。
- 2019年よりエッジテクノロジー株式会社、営業管掌取締役。
- 2024年12月 エッジテクノロジー株式会社、代表取締役社長に就任（現任）

坂西 茂（取締役 兼 AIイノベーション推進室長）

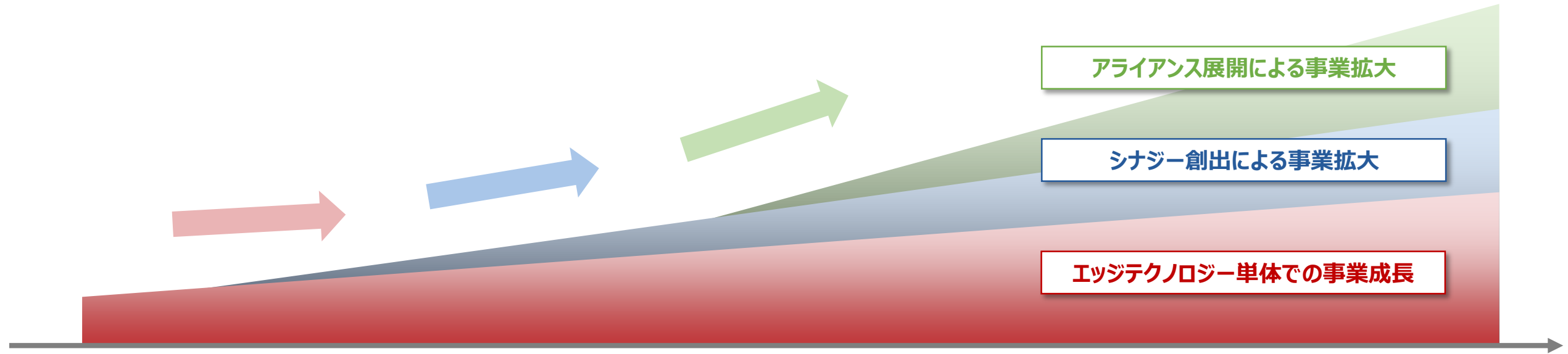
- 株式会社キーエンスにて製造業向けコンサルティング営業を経験した後、ジャスダック（現東証スタンダード）上場の専門商社にて営業責任者および新規事業担当を歴任。
- 2014年の当社設立時より参画して営業部門を牽引。
- 2019年、執行役員に就任。
- 2024年12月 エッジテクノロジー株式会社、取締役AIイノベーション推進室長に就任（現任）

塚原 俊郎（社外 監査役）

- 公認会計士試験合格後、大原簿記学校の簿記講師を経て、2005年に新日本監査法人(現：EY新日本有限責任監査法人)に入所。
2019年7月よりEY Hong Kongに赴任し、150社を超える在港日系企業に対して会計監査・税務、M&A関連業務など幅広いサービスを提供。
- 2023年より株式会社アシロに入社、内部監査室長。
- 2023年より晴磐監査法人に入所、パートナー（現任）。
- 2024年に塚原公認会計士事務所を設立、代表（現任）。
- 2024年よりエッジテクノロジー株式会社、監査役に就任（現任）。

- | | |
|-------------------------|------|
| 1. 本件のハイライト | P.3 |
| 2. エッジテクノロジー事業計画（単体） | P.6 |
| 3. PMI体制におけるシナジীর検討 | P.8 |
| 4. シナジীর早期実現に向けた体制変更 | P.12 |
| 5. エッジテクノロジー事業計画（シナジীর） | P.16 |

単体収益向上・シナジー最大化により、企業価値の向上を図る



次期中計期間終了（～2029年3月）までに期待する、当行グループ全体における金額効果 ⇒ **約30億円**